

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	特別活動
科目基礎情報						
科目番号	0039		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材						
担当教員	小川 信之					
到達目標						
以下の各項目を到達目標とする。 ① 自己管理能力、責任感を身につける ② 研修旅行, 学年講演会, キャリア教育を通し, 企業活動を理解し自身のキャリアデザインについて考えることができる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	自身の目標に対し, 実現に向けた計画を立て実行できる		目標を設定し, 実現に向けた計画を立てることができる		目標を設定できない, または目標の実現に向けた計画を立てることができない。	
評価項目2	自身のキャリアデザインに合わせ 自身の適性・能力を具体的に検討できる		企業活動の概要を理解し, 自身のキャリアデザインを考えることができる		企業活動をりかいない, または自身のキャリアデザインを考えることができない	
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	自己管理能力を養うとともに, 研修旅行・学年講演会・キャリア教育を通し, 自身のキャリアデザインについて継続的に考えられる素養を身につける					
授業の進め方・方法	特別活動を通して, 自己分析, キャリアデザインについて学習する					
注意点						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	学級指導(第 3 学年のはじめにあたって)		3年生をどう過ごすか考える	
		2週	学級指導(専門科目の構成と学習方法)		専門科目への取り組み方について理解する	
		3週	学級指導(キャリアデザイン),大掃除		自身のキャリアデザインの重要性を知る	
		4週	小論文 (1年の目標)		自身の学習の取り組み方を考える	
		5週	学級指導(資格試験について)		国家資格と重要性を理解する	
		6週	学級指導(試験に向けた勉強方法について)		試験勉強の計画をたてることができる。	
		7週	学級指導(中間試験諸注意),大掃除		試験勉強の計画を実行できる	
		8週	学級指導(中間試験の自己分析)		自身の現状を認識することができる	
	2ndQ	9週	学級会(研修旅行の行き先)		地域社会・産業界について知る	
		10週	キャリア教育(進路紹介),大掃除		学習内容が将来どのように活用されるかを考えることができる	
		11週	学級指導(設計コンペについて)		設計コンペの重要性を理解する	
		12週	キャリア教育(自分の分析)		自身のキャリアデザインについて考えることができる	
		13週	学級指導(期末試験の諸注意)		試験勉強の計画をたて計画を実行できる	
		14週	学級指導(後期に向けての諸注意),大掃除		自身の現状を確認することができる	
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週	学年講演会		企業活動について考えることができる	
		2週	交通安全教育		責任ある行動について考えることができる。	
		3週	学級会(高専祭準備),大掃除		グループの一員として行動することができる	
		4週	学級指導(研修旅行の諸注意)		研修内容について理解する	
		5週	学級指導(研修旅行の振り返り)		建築をどう感じたかを振り返り、自己の感性を認識できる	
		6週	学級指導(中間試験諸注意), 大掃除		試験勉強の計画をたて計画を実行できる	
		7週	学級指導(中間試験の振り返り) 学級会(クラス役員の選出)		自身の現状を認識することができる	
		8週	キャリア教育(希望進路)		自身のキャリアデザインを考えることができる	
	4thQ	9週	キャリア教育(5 年生の進路紹介) 学級指導(冬休みの諸注意),大掃除		自身のキャリアデザインを考えることができる	
		10週	学級指導(TOEIC 試験の諸注意) コース分け希望調査		自身の特性について考えることができる	
		11週	学級指導(学年修了に向けての決意)		自身の現状を把握することができる	
		12週	学級指導(期末試験の勉強計画),大掃除		グループの一員として行動することができる	
		13週	学級指導(期末試験の諸注意)		試験勉強の計画をたて計画を実行できる	
		14週	学級指導(次年度に向けて),大掃除		自身のキャリアデザインの重要性を認識する	

		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	2	前2	
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。	2		
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	2		
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	2		
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。	2		
				企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	2	後5	
				企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	2		
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	2		
				企業には社会的責任があることを認識している。	2		
				企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。	2		
				調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	2		
				企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	2		
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	2		
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	2		
				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	2		
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でのように活用・応用されているかを認識できる。	2		
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	2		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0